

市長への手紙

住みよいまちづくりに

あなたのアイデアやヒントを



市民の声を市政に反映させるため市は、市民が日ごろ市に対して感じていることや、今後こうしてほしいという意見や要望をお聞きする、いろいろな窓口を設けています。

その一つとして「市長への手紙」制度があり、公民館などの公共施設に封筒と用紙を置き、市長に手紙で通信できるようにしています。

このほど新しいところみとして、一層市民に利用していただくため、今回発行の「広報ふじ」にこの手紙

をおりこみました。

市は、「生産と生活が調和する産業文化都市づくり」を基本目標に、新しい総合計画を定めましたが、この計画をより市民に理解していただくため、地域懇談会を6月から開く準備を進めています。

今後、いろいろな施策を進めるうえで、より多勢の市民のご意見を参考にしたいので、あなたの建設的な意見やアイデア、ヒントを、市長にお寄せください。

みなさんから寄せていただいた「提言」は、すぐ実現できるものはすぐ実行し、将来にわたるものや予算を必要とするものについては十分検討し、今後の市政の指針とさせていただきます。



「市長への手紙」を出すときは次のことに注意して下さい。

- ・おりこみの手紙を切り取りおりたんで、のりづけしてください。
- ・郵便切手をはる必要はありません。そのままポストへ入れてください。
- ・締切は、6月30日までです。
- ・住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いてください。
- ・なるべく問題をしばって、具体的に書いてください。

問合せは、市広報広聴課 ☎51-0123
内線 528



公民館図書室の 充実を

【こえ】 広見に公民館が建設されて約1年がたちました。せまいロビーですが、そこに図書棚があり、いまだに半分もうまらないささやかな図書があります。

児童向け図書400冊たらずを、今年

1月から3月末日までに、1,648冊も貸出し非常に多くの児童に利用されています。ちなみに蔵書何万冊の中央図書館の児童図書貸出数は、1月から3月末日で8,670冊で、その約5分の1になります。夏休み中は、約800冊の貸出しがあり、この実態を知っていただくため、地域に呼びかけて家に眠っている本の寄付を呼びかけました。又本年も婦人会長さんにお話し、各戸に呼びかけて下さるようお願いもしてまいりました。最近のテレビの刺激的な番組から少しでも、子どもを遠ざけるためにも読書の習慣は身につけさせたいものです。各学校にも図書室があり、児童

のみでなくPTAもどうぞという呼びかけがあっても、なかなか学校で借りたりしないものです。いくら立派な本がそろっていても読まれなければなにもなりません。中央に立派な図書館という声もありますが、なるべく多くの人に利用される公民館図書室の実態をしらべてその充実化をお願いします。(広見町 1さん)

【こたえ】 各公民館にあります図書室の運営につきましては、懸案事項ですので、ご提言の主旨を十分ふまえて図書館とも十分協議して、充実を目指してまいりたいと考えています。(公民館)